初乳の取り扱いについて確認しましょう！

大切な子牛を健康に育てるためには、スタートダッシュ（初乳給与）が肝心です。

そこで改めて初乳の取り扱いについて確認してみましょう（図1）。

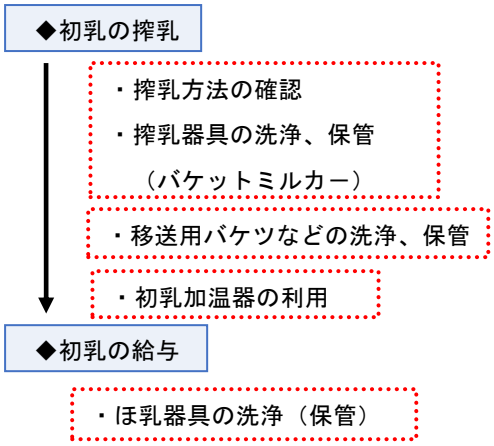

図1　初乳の取り扱い確認事項

1．搾乳方法の確認

搾乳による初乳の汚染を防ぐために必要なことは、次の5点です。

①初乳の搾乳は、注意深く行う

乳房炎の履歴がある場合には、PLテスターで確認する

初産は、初めての搾乳で危険な場合があるので、注意する

②清潔な搾乳手袋を使用する

③プレディッピング（乳頭および乳頭口を殺菌する）

④前搾り（4～5回を目安に、乳頭内乳槽の汚染乳汁を排出する）

⑤乳頭の汚れを拭き取る（清拭用タオルを使って、ねじりこむように丁寧に、乳頭口も忘れない）

2．搾乳器具（バケットミルカー）の洗浄と保管

バケットミルカーによる汚染は、洗浄不良が原因である場合があります。汚れが残りやすい肩口や底も丁寧に洗浄し、外側も忘れずに洗いましょう。

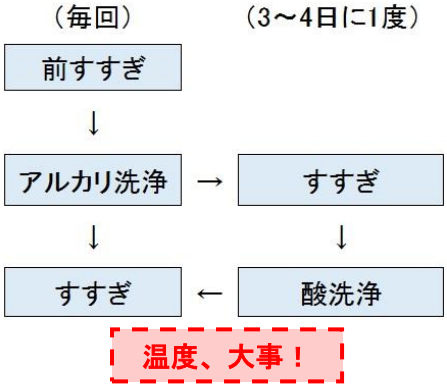

図2　洗浄手順

①使用後に図2の手順で洗浄する。

②洗剤や殺菌剤は、メーカーが推奨する使用濃度や温度に従う

③清潔な場所に伏せて（ほこりの侵入を防止するため、乾燥させるため）保管する（写真1）

④使用前には、必ず殺菌剤で殺菌する

3．ほ乳器具の洗浄と保管

ほ乳器具の洗浄と保管は、基本的に搾乳器具と同じです。

ほ乳びんの洗浄では、汚れが残りやすい乳首の先端や乳首とボトルとの接続部分、ボトルの底と肩の四すみに注意します。

●ほ乳器具の洗浄が、うまくいっているか？

「目視」　プラスチック容器　曇っていない

ステンレス容器　輝いている

「ふれる」　スムーズでざらついていない

すべりやすく、ぬるつかない

つめやスプーンで引っ掻いてみても

そのカスがつめやスプーンに

まったく残らない

北海道酪農技術セミナー2013 テキストより抜粋

黒崎　尚敏氏（トータルハードマネジメントサービス）

4．初乳加温器（パスチャライザー）の利用（写真2）

初乳を殺菌して下痢や疾病リスクを低減させるため、初乳加温器の利用もおすすめします。

写真1　清潔な場所に伏せて、保管されていますか？

写真2　初乳加温器

平成２７年２月作成　釧路農業改良普及センター本所